

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0993
施設名	水元保育園
施設所在地	東京都葛飾区南水元4-18-11
法人名	社会福祉法人健翠会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
・子どもの主体性を重んじた保育方針の中で、子どもだけでなく大人も十分に知識のない「光」というテーマにすることで、子どもと保育士と同じくらいの熱量を持ちながらともに考え、探究することができると思ったため。

2. 活動スケジュール

- ・令和7年9月より三面鏡、11月よりライトテーブルをそれぞれ幼児保育室内に常設する。
- ・子どもたちが関心を深めたタイミングで二面鏡と三面鏡作り、万華鏡作りを行っている。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
・三面鏡とライトテーブルを保育室内に常設し、それぞれを1つのコーナーとして設定。
・光の世界に没頭できるようにライトテーブルコーナーには暗幕を張っている。
用意した素材：カラーポリ袋、マグフォーマー、折り紙、色水、スズランテープ
ビー玉、カラーセロハン

【三角鏡】という三角柱の内側と外側に鏡が張られている写真のような物を保育室に出してみました★
 「なにこれ～」 『なんだろうね～』
 「入っていいの？」 『どうぞどうぞ』
 と興味津々で中をのぞき込み…

三角鏡・光学三稜鏡で何する！

虹につながるだろうか？～マイクロスコープ～

そっと、下を向きながら中に入ると…
 「うわ～、落ちちゃう！」「なにこれ～落ちこちる～」「きゃ～！」
 向かい合わせになっている鏡の効果で、床部分の鏡がどこまでも続いているように見え【落ちる～】となったようです(笑)
 中に入り、座って前を見ると、前の鏡もどこまでも続いているように見え、今度は登っているように見え、
 「あ～あがってく～」「あんなに上まで行ってるよ」
 「アッ、あんなところに先生いる！」「え～なんか私がたくさんいる！」「〇ちゃんもいっぱいいるじゃん！」「きゃはは、ホントだー！」
 合わせ鏡の効果に夢中になり、鏡に顔をくっつけて見たり、寝て転がり足を上げて登っている風を楽しんだり、どこまで見えるか鏡の中で先生や友達を探したり、登ったり落ちたりと感じる所がジェットコースターにつながり、ジェットコースターごっこにもなりました◎

「きゃ～落ちちゃう！」

「あ、こっちとこっちくっついてる！」と気づき「ひっつきもつきみたい！」と言って、歌いながら身体のおちこちをくっつけてました

どこまで見えるかな？
「先生いた！」



「のぼってく～！」

「みんな、いっぱいいるよ！」
「どこどこ？」

「ジェットコースターです！」
「ちゃんどつかまってね、あがるよ」



続いて…【光学三稜鏡】(光学プリズム)という光を屈折・反射・分散させる事ができる物を子どもたちに見せてみました。

キラキラの見た目に「きれい～」と興味津々の子どもたち。実は、これは白色光をプリズムに通す事で光を虹色に分解する事が出来るもの。どんな風に使うかな？
 まずは、覗いてみる…

「あ～なんか手が見える！」



「私にも貸して！本当だ…手がいっぱい！」

こんな感じで見えます◎(三角柱の方)

「光学三稜鏡」

多面体の方も見せると、嬉しそうに指に乗せうーと音が笑)

そのうち三角柱と多面体の両方を持ち三角柱を覗いた先に多面体を置き、鏡や明るい方に向けていると…



「うわ～きれい！いろんな色が見える！虹色みたい◎」

どうやらとても綺麗だったようで、「どんな色？」と聞くと「水色とか紫？ピンク？なんかいっぱい！虹色だよ！」と書いていました。



虹色はこんな感じですよ！

【虹色！】と聞いて、まわりの子ども「代わって！」とぞう…

ウインクのレクチャー中…



「見えない…」
覗く方の目も閉じてしまうようで…



「どう？」
「見えた◎！」
「ピンクと水色だ～」



マグフォーマーを持って来て鏡の上を走らせ、
 「タイヤがいっぱいだ！」
 鏡に映るタイヤで途力満点の車になったようです
 「〇(マル)になった！」
 鏡に映ったマグフォーマーと実物がつながって見えて、強ではなく、鏡に見える事を楽しんでました◎

今回は少しの時間でしたが、今後、保育室に常設していく予定です。たくさん子どもたちに体験してもらい、新たな発見・疑問を一緒に考えていこうと思います。『虹』というテーマでしたが、『虹色って？』というところから『子どもたちが考える虹色』について話を聞いていこうと思いました。虹よりも鏡についての不思議の方が子どもたちは興味がありそう。『どうして落ちように見えるのか？登っているように見えるのか？』『遠くの方までなんで見えるの？』『なんで私がたくさんいるの？』『どこまで続くの？』など鏡の不思議の方も子どもたちと探ってほしいなと思います。理科・科学系が苦手な孫、保護者の皆様の中に『好きです！』『少しなら…』という方居られましたら、アドバイスいただくとありがたいです。『マイクロスコープ』というグループ名ですが名前と関係なく子どもたちと色々な体験をしたいと思っています♪

～ 万華鏡作り ～

2026. 2



なんにも
みえない!!

*まだ「ビーズ」入れてない
からです。

つつをまるくするの
むずかしい

あな、
ちいさいかな...



どうみえる?
ほぞく
つくりたいな...

このあなから なかを
のぞくの?
どうなってるのか
たのしみ~!!

え? どういうこと?

あ!!
キラキラみえるかも!

*「ビーズ」入れてない



え-?
かがみつかうの?